

令和 5 年度

国臨協関信支部埼玉地区会
会報誌
第 14 号



令和 6 年 7 月発行

NEW FACE



NHO 東埼玉病院

熊谷 豊



初めまして。4月1日付で茨城東病院より配置換でまいりました、臨床検査技師長の熊谷と申します。私の出身は長野県ですが、現在は群馬県に家を構え約30年になろうとしております。勤務地は非常勤時代も含めると、東京、長野、群馬、山梨、茨城と回り今回初めて埼玉県勤務となりました。例のごとく単身赴任で、居心地的にはアパートのほうが充実している感もあります（何せ邪魔が入らないので）。

埼玉の夏は暑いと聞いてはいましたが、想像を絶するものがあります。まだ梅雨明けしていない7月初旬、暑かったのですがエアコンをつけずに午前中を過ごしたところ、あわや熱中症にかかってしまうところでした。家のある群馬も結構暑くなる地域ですが、一回り暑い気がします。埼玉恐るべし。これからは無理のないようにエアコンを使用し、酷暑を乗り切りたいと思います。

せっかく埼玉に赴任しましたので、埼玉地区会に貢献できるように頑張ってまいる所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



NHO 西埼玉中央病院

村山 智紀

埼玉地区会の皆様、初めまして。4月1日付で成育医療研究センターより異動しました村山智紀と申します。

西埼玉に異動が決まり、周りの方々から「まだ紙カルテ運用だよ」「鴨が飛び出してくるよ」と令和の時代にそんなまさかというお話を聞き、心配しながら出勤しました。駅からの道は森に囲まれ新潟の実家を思い出しました。そして、本当に鴨が横切っていきました。紙カルテはちょうど今年電子カルテに変わっており本当に良かったです。

西埼玉では成育と変わらず微生物を担当しておりますが、主任不在、検査方法、設備、報告内容など今までとの違いに毎日戸惑いながらも周りの方々に支えられなんとかやっております。また、成育では検体検査系がランチだったため、生化学や一般検査などの日当直業務も初めてのことばかりでした。最初の当直は緊張で一睡もできませんでしたが、優しい先輩方のご指導もあり徐々に慣れてきたかなと思います。

日々勉強、これからも精進していきますので、どうぞよろしく願いいたします。



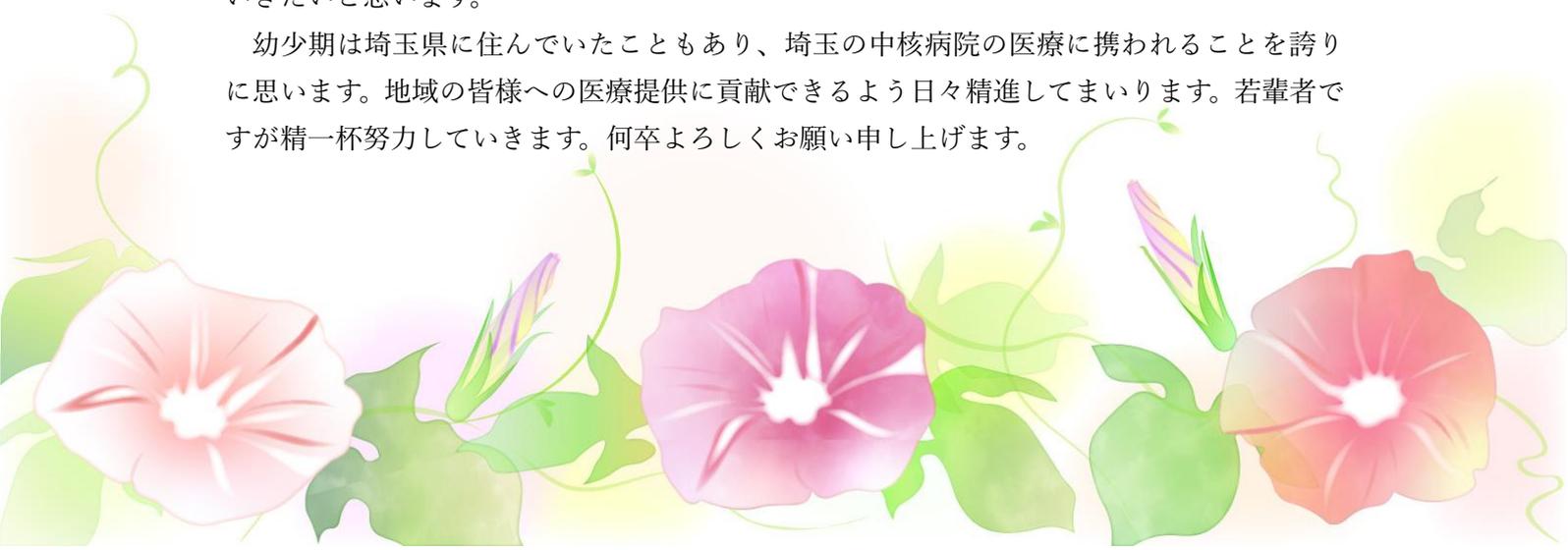
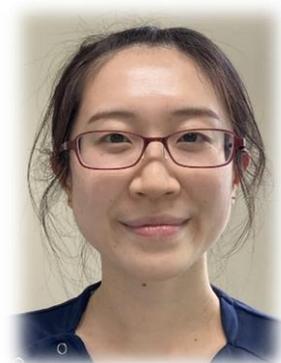
NHO 西埼玉中央病院

牟禮 優菜

この度4月1日付で国立成育医療研究センターから異動して参りました牟禮優菜と申します。今回初めての異動となりますがどうぞよろしく願いいたします。

3月まで働いていた病院は小児・周産期医療を専門とした施設でした。そのため幅広い世代の患者様が来院される西埼玉中央病院に異動した当初は、年齢に応じた患者対応や検査結果の解釈を柔軟に対応しなくてはならず不安を感じていました。しかし自分の知識や経験を深められる良いチャンスだと思い、患者様に寄り添った接遇対応や検査のスキルアップを目指していきたいと思います。

幼少期は埼玉県に住んでいたこともあり、埼玉の中核病院の医療に携われることを誇りに思います。地域の皆様への医療提供に貢献できるよう日々精進してまいります。若輩者ですが精一杯努力していきます。何卒よろしく願い申し上げます。



NHO 埼玉病院

尾藤 将大

令和6年4月1日付で埼玉病院に常勤職員採用となりました、尾藤将大（びとうしょうた）です。以前は、国立がん研究センター東病院で非常勤職員として勤務していました。

埼玉病院では細菌検査室に配属となりました。新しい職場ということもあり、オンコールなど新しい業務に緊張しつつ、検査技師としての責任感を感じ奮闘する日々ですが主任や先輩に支えてもらい一生懸命頑張っています。

趣味として温泉巡りやサウナが好きです。週1のペースでサウナに通い汗を流し水風呂と外気浴でよくリフレッシュしています。生活圏では飽き足らず県外まで足を伸ばし温泉巡りをしているので、オススメの銭湯や温泉がありましたらぜひ教えてください。また、人とお話しするのも大好きなので趣味の話以外にも気軽に話しかけていただけると幸いです。

最後になりますが、検査技師としても社会人としてもまだまだ未熟者でありご迷惑お掛けすることもあると思います。精一杯取り組みますので何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。



NHO 埼玉病院

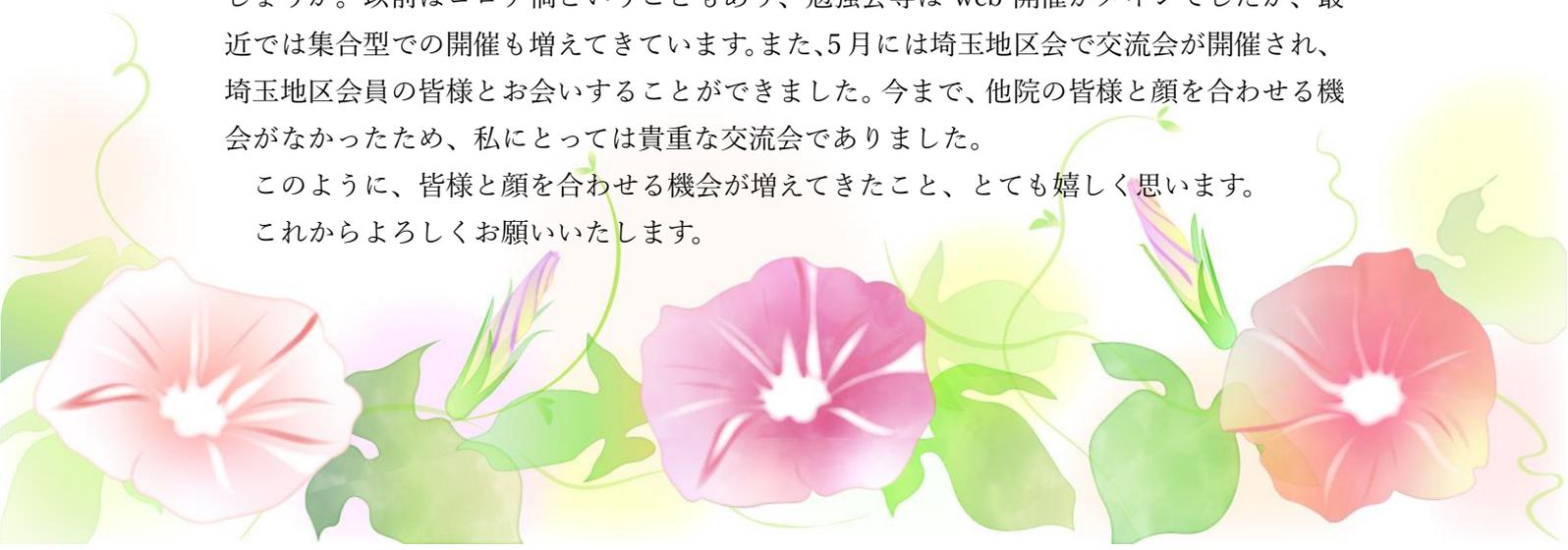
橋本 実希

埼玉地区会員の皆様、はじめまして。4月1日付けで埼玉病院に配属になりました、橋本実希と申します。

大学卒業後、国立国際医療研究センター病院にて非常勤職員として1年、その後、信州上田医療センターにて常勤職員として2年勤務いたしました。検査技師になり4年目となりましたが、未だ学びの多い日々を送っております。

近年、新型コロナは第5類に分類され、少しずつコロナ禍前の生活に戻ってきたところでしょうか。以前はコロナ禍ということもあり、勉強会等はweb開催がメインでしたが、最近では集合型での開催も増えてきています。また、5月には埼玉地区会で交流会が開催され、埼玉地区会員の皆様とお会いすることができました。今まで、他院の皆様と顔を合わせる機会がなかったため、私にとっては貴重な交流会でありました。

このように、皆様と顔を合わせる機会が増えてきたこと、とても嬉しく思います。これからよろしくお願ひいたします。



埼玉地区会交流会に参加して

NHO 西埼玉中央病院

佐藤 慶和

令和6年5月18日(土)埼玉地区会主催の交流会が池袋駅からほど近い、楽園タウン池袋の屋上で開催されました。当日はとても良い天気で、5月とは思えないほど気温も高く、バーベキューには絶好の日となりました。

会場はビルの屋上で解放感に浸れるお店で、とても素敵な場所でした。そんな会場に、当日は20名以上の会員の皆様が参加され、蓮尾地区会長と沼田技師長のご挨拶の後、熊谷専門職より乾杯が行われました。

私は今回初めて地区会交流会に参加させて頂き、最初は緊張していましたが、新参者の私にも埼玉地区会の先輩方はとても優しく、次第に緊張もほぐれていきました。また、普段ではなかなか接することが出来ない他施設の方々から体験談やアドバイスなどを聞き、本当に貴重な時間を過ごさせて頂きました。

交流会も中盤に差し掛かったところでビンゴ大会が始まり、施設関係なく参加者全員で盛り上がっていました。そして、気が付けばあっという間に時間が過ぎ最後は集合写真を撮り、蓮尾会長の締めのお言葉で交流会は幕を閉じました。本当に楽しく有意義な時間を過ごさせて頂きました。

最後になりますが、このような会を企画していただきました埼玉地区会役員の皆様には深く感謝申し上げます。今後、私も埼玉地区会の一員として力になりたいと感じました。来年も是非参加させて頂きたいと思います。有難うございました。



NHO 埼玉病院

池田 早耶香

連日猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

去る5月18日爽やかな新緑の中、関信支部埼玉地区会の交流会としてバーベキュー大会が開催されました。会場は池袋東口から徒歩5分の繁華街の中にあり、大都会の中でバーベキューができる場所があることに驚きました。

当日は埼玉地区の28名が集まりました。好天に恵まれ、美味しいお肉やお酒の他、最後にはポップコーンやマシュマロを焼いて和気あいあいと過ごすことができました。

途中ビンゴ大会も開催されましたが、私は焼きそば作りに熱中していた為か残念ながら上がれませんでした。その分美味しい焼きそばを皆で堪能することができました。

私は社会人になってすぐに新型コロナウイルスの感染が拡大したため、職場の方々と職場外で食事をした経験があまりなく、他部署の方や初めてお会いする方もいて少し緊張しました。しかし先輩方や同僚の業務以外の様子を見ることができたことがとても新鮮でした。特に普段交流のない他施設の特色や様子を聞くことができたこと、同じ臨床検査技師として切磋琢磨する先輩方や同僚の仕事への姿勢を窺い知ることができ、大変刺激になりました。

あっという間の2時間でしたが、気づけばお腹も心も満たされてしっかり充電することができ、親睦を深める素晴らしい機会となりました。

今後も目の前の業務に真摯に取り組み、一歩ずつできることを増やしていきたいと思っております。



私の趣味 ～煩惱スイム～

国立障害者リハビリセンター病院

渡司 雅代

長い間、泳ぐ事が大嫌いでした。40才を過ぎたあたりに、そろそろ趣味が持たたい！と思うようになり近所の水泳教室に申し込みをしました。今までは自己流もいいところ・・・と、前回、原稿を書かせて頂いたときは水泳教室に通いだし、認定書を頂けたお話でした。今回は通算3回のチャレンジしている、年の瀬恒例、煩惱スイムについて少々。



字面のとおり、年の瀬に、煩惱の数だけ泳ぐ！という至ってシンプルなもの。50mを煩惱の数だけ108本ひたすらに泳ぎ続けるだけ。泳げる方、特に水泳を趣味と言い切れる方、学生時代水泳選手でしたという方にとっては50m×108本、5400m。5kmちょっと。たいしたことないかもしれませんが。そんな強者の方には60秒、70秒サイクルも用意されており、私は大体70秒で50mを泳ぎ切り20秒程休憩して、また泳ぎ出す、の90秒サイクルでの参加。出発の合図はもちろん、カウントもコーチ任せ、終わりといわれるまで、ひたすら泳ぎます。スタートの合図でどのコースも一斉に泳ぎ始めます。90秒サイクルで2時間42分。さあ自分との闘いの始まりです。途中ペットボトルでの水分補給も忘れずに。20本泳ぐと案の定、“やめればよかった。まだ、88本残っている。息が苦しくなってきた？”と後悔の念が続々と押し寄せます。40本、50本、60本過ぎたあたりから“まあ、残りが少なくなってきた”と気持ちに変化が現れます。「あと20本」のかけ声あたりから、“もう少し辛抱”と思い始め、やっとのことで泳ぎ終わりです。私の泳ぎ方ですが、なんと！ゆっくり長く泳ぐツービートキックなるものを身につけました。（大きな進歩！）目的に沿った泳法が存在することも知らなかった私ですが、水泳教室に通っているおかげで、クロールでも、ゆっくり長く泳ぐ泳法、タイム勝負の速く泳ぐ泳法といろいろ教えて頂けて、こんなに水泳は奥が深かったのだなあと痛感しています。まあ、煩惱を捨てひたすら泳ぐという本来の目的にはまだまだ、ほど遠い私ですが、少しの勇気、元気があればどなたでも挑戦できます。

最後までお読み頂いた皆様、今年の年末はいろいろな所で開催されている「煩惱スイム」に是非チャレンジしてみてください。

